

令和3年度 一関市社会福祉協議会 事業報告

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響が、社協が進める福祉事業にも大きな影響を及ぼし、介護事業では感染対策を行う中でのサービス提供、地域福祉事業ではつながりを絶やさないための工夫、相談事業ではコロナ禍による生活相談への対応など、事業運営の工夫や新たな対応が求められた。

事務事業の推進は、基本理念『支え合い 幸せ感じる 地域の暮らし』に基づき、福祉はみんなで支え合うという一人ひとりの「思いやり」と「助け合い」の結の心を育むことと同時に、コミュニティの構築と共生のまちづくりを進めるため、一体感の醸成に努めつつ、生活に役立つ福祉サービスの提供、住民が安心して暮らすことができる福祉事業の推進に努めた。

1. 重点事業の実施状況

(1) 一関市社会福祉協議会中期経営計画の策定

事業の将来性、継続性を見通し、効果的・効率的経営を図るため、法人経営部門、地域福祉活動推進部門、相談支援・権利擁護部門、介護・障がい者支援サービス部門の4部門毎に係長・主任級職員による作業チームと部門長による部門長会議及び管理職による策定部会により、組織基盤の強化、財源の確保などの経営課題、部門毎の事業課題の解決に向けた方向性と年次計画を示した中期経営計画の策定に取り組んだ。

また、有識者による外部アドバイザー委員を委嘱し、経営計画が効果的かつ適正な計画となるよう助言をいただいた。

(2) 第2次一関市地域福祉活動計画の実践

地域福祉コーディネーターは、地域の話し合いの場や民生児童委員協議会や地域協働体などの関係団体に出向き、個別相談への対応や生活課題の解決を図るための話し合いを行った。

具体的展開として、昨年度の千厩地域に続き、一関地域において、民生児童委員等との話し合いを重ね、ふれあいサロンの場を活用し、買い物支援についての取り組みを行った。また、室根地域では、地域における生活課題にどのような支援ができるか話し合う場を作り、住民のつながりによる支え合いを進めるため、支え合いマップづくりに取り組んだ。

社会福祉法人との情報交換を進める中で、社会福祉法人の福祉専門職に児童生徒等の福祉学習の講師を依頼し、福祉への理解や福祉職への関心を育む機会を設けた。また、食料支援や移動支援等の地域課題に対応し、社会福祉法人と協働した事業を展開した。

食料支援事業は、一関市総合福祉センターに加え、千厩農村勤労福祉センターにフードポストを新たに設置し、個人、企業、団体から多くの食料寄附が寄せられ、生活にお困りの方やひとり親家庭にお配りした。

(3) 相談支援の充実

社協の相談支援体制の充実を図るため、生活支援課を設け、総合相談に対応した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的に困窮している方が増え、生活福祉資金特例貸付の延長が行われている。貸付相談員を2名体制とし、286件 81,410,671円の相談支援に対応した。

また、生活福祉資金貸付事業との連携による生活困窮者自立支援事業の相談支援と住居確保給付金相談支援に加え、相談支援から食料支援や債務整理、弁護士相談等へつなぐことで、生活困窮者に対しての経済的自立と生活の安定を目指した相談支援を強化した。

権利擁護支援については、判断能力が十分でない方への権利擁護を行う日常生活自立支援事業を展開するほか、成年後見制度については研修などによる専門性の向上に努めた。

(4) 介護保険事業、障がい者支援事業の推進

介護保険事業は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策に追われた一年であった。特にも通所介護サービスにおいては感染拡大の影響もあり、サービス利用の自粛や一定期間の休業を余儀なくされるなど、収益にも影響を及ぼした。

介護人材の確保については、年間を通じてハローワークを中心に求人募集するなど人材確保に努めたが、近年ますます外部からの応募は減少し人員の確保が厳しい状況であった。

そうした中で介護職員初任者研修等を開催し、介護の担い手育成に努めた。こうした研修を通して福祉に対して興味を持ち、社会福祉協議会に勤める方もおり、地域の介護人材を育成するうえでは重要な役割を担っている。

また、介護職員の資質の向上を図るため、キャリアパス研修への積極的な参加を促し、リーダー育成、管理職育成と経営力の向上に努めた。

障がい者支援事業において、一関障害者生活支援プラザでは、障がい者が安心して日常生活を送れるよう、新型コロナウイルス感染対策を講じた相談支援を行うとともに、障がい者の安心した生活を実現するためのサービス利用計画の作成やモニタリングの実施、関係機関とのネットワークの強化を図り、総合的な相談支援を行った。また、基幹相談支援センターでは、困難事例や複数の課題を持つ方への対応、計画相談支援の調整等、地域の相談支援体制づくりを進めるとともに、関係機関との連携強化に努めた。

就労継続支援事業所千厩ワークプラザでは、新型コロナウイルス感染症対策に努めながら利用者が継続した就労と自立した日常生活又は社会生活が営むことができるよう、支援に努めた。

2. 新規・事業拡充の取組み

(1) 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した事業展開や事務事業のIT化

新型コロナウイルス感染症対策に配慮し、介護事業では感染対策を行う中でのサービス提供、地域福祉事業ではつながりを絶やさないための工夫、相談事業ではコロナ禍による生活相談への対応を行った。また、オンラインによる会議や研修ができるよう、機器整備を行い、事務事業を展開した。

(2) 社協経営における自主財源の確保、組織体制の強化など課題を解決するための中期経営計画の策定

人口減少に伴う会費収入の減少や介護報酬の改定、サービス事業利用者の減少等による事業収入の減少に対応するため、適切な財政管理に努めるとともに、新たな社会的課題への対応等独自事業に対しては自主財源の確保を図りながら、予算の適切な執行管理を進めるため、中期経営計画の策定を行った。

(3) 社協の相談支援体制の充実を図るための生活支援課の新設

新たに生活支援課を新設し、本会が有する相談支援事業をワンフロアに集中させ、総合相談窓口を整備した。生活支援と障がい者支援との連携強化により、日常生活自立支援事業や生活困窮者自立支援事業などの生活相談と障がい者支援相談が一体的に進められ、様々な生活課題を抱える利用者ニーズに対応した。

また、総合相談以外にも食料支援や債務整理の提案、弁護士の紹介など様々な支援を組み合わせて提供することができた。

(4) 成年後見制度利用促進にかかる広報啓発及び相談支援体制の充実

社協が主催した支援関係者向けの成年後見制度に関わる研修会を2回開催し、成年後見制度の周知啓発を図った。

また、令和5年度からの成年後見支援センター事業受託と、それに向けた相談支援事業の協働についてのスケジュールを市と共有した。

3. 各課、各支部の事業報告

総務課

事業名	内 容
理事会	法人運営のため、理事会を4回開催した。 第1回 令和3年 6月 8日 令和2年度事業報告、収支決算 他7件 第2回 令和3年 6月 24日 会長・副会長・常務理事の選定 第3回 令和3年 11月 30日 補正予算、第2回評議員会の招集 第4回 令和4年 3月 15日 社会福祉法人指導監査結果に対する是正改善 他18件
法人運営懇談会	令和3年10月12日 中期経営計画策定について、役員と懇談した。
評議員会	適正な法人運営を図るため、評議員会を3回開催した。 第1回 令和3年 6月 24日 令和2年度事業報告、収支決算他2件 第2回 令和3年 12月 14日 補正予算 第3回 令和4年 3月 24日 補正予算他2件
監事会	監事による出納調査、決算監査（事業報告、計算書類等）を実施した。 ・出納調査 令和3年5月18日、8月26日、11月26日、 令和4年2月28日 ・決算監査 令和3年5月18日
会長・副会長会議	法人運営を図るため、理事会案件等について、会長、副会長及び常務理事等による会議を5回、実施した。
支部運営委員会	支部の円滑な事業運営を図り、地域住民の意向を把握し地域福祉を推進するため、運営委員会を開催した。 ・一関支部 3年6月30日 令和2年度事業報告及び決算報告について 他1件 3年12月8日 令和3年度上半期事業報告について 他2件 4年3月23日 令和4年度事業計画について 他1件 ・花泉支部 3年7月29日 令和3年度敬老事業について 他6件 12月10日 令和3年度敬老事業各地区の決算状況について 他5件 4年3月25日 令和4年度事業計画及び予算について 他6件 ・大東支部 3年6月29日 令和2年度事業・決算報告、デイサービスセンター大東等複合施設整備基本計画について 他6件 9月17日 令和3年度大東地域敬老事業、デイサービスセンター大東等複合施設整備基本計画の検討状況について 他9件 12月10日 ひとり暮らし高齢者外出支援事業「買い物ツアー」、デイサービスセンター大東等複合施設整備基本計画の検討状況について 他9件 4年3月25日 令和4年度大東支部事業計画について他7件(書面送付) ・千厩支部 3年7月5日 令和3年度事業計画について 他2件 12月16日 千厩地域高齢者買物支援事業について 他1件 ・東山支部 3年5月10日 令和2年度事業・決算報告について 他2件 9月10日 令和3年度赤い羽根共同募金法人事業所等募金要領について 他5件 12月7日 令和4年度事業計画について 他5件 4年3月4日 令和4年度事業計画の変更について 他4件

	<ul style="list-style-type: none"> ・室根支部 <ul style="list-style-type: none"> 3年6月21日 令和2年度室根支部事業報告と決算について 他3件 12月13日 令和3年度室根支部所管事業の実施状況について他2件 4年3月23日 令和4年度室根支部事業計画について 他3件 ・川崎支部 <ul style="list-style-type: none"> 3年5月21日 令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について 他1件 7月16日 令和3年度川崎地域敬老事業について 他1件 12月16日 令和3年度川崎地域敬老事業の反省について 他1件 ・藤沢支部 <ul style="list-style-type: none"> 3年6月30日 令和2年度事業報告及び決算について 他8件 11月15日 歳末たすけあい配分対象者の決定について 他1件
職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上を図るための下記内部研修を実施し、23人が受講した。 講話・演習「一步前進！読みたくなる広報づくり」 ・人材の育成と定着を図るため、キャリアに応じた研修の機会を提供し、職員の資質と対応能力の向上を進めた。 福祉職員キャリアパス対応生涯研修(チームリーダー編) 参加者 4名 〃 (管理職員編) 参加者 3名
第16回一関市社会福祉大会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典・講演は中止とし顕彰のみ実施した。表彰状及び感謝状は、社協各支部を通じて贈呈した。
一関市総合福祉センターの管理運営	<p>市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、地域福祉活動を総合的に推進するための活動拠点として運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日数 354日 ・利用件数 406件 ・利用人員 4,830人 ※前年度 利用件数512件、利用人員5,430人

地域福祉課

事業名	内 容
地域福祉活動推進事業	<p>生活課題解決の話し合いの場作りや関係機関への繋ぎ役を担う、地域福祉コーディネーターを地域担当制で配置し、地域づくり支援を行った。</p> <p>室根地域においては支え合いマップの作成支援を行い、住民同士の避難支援にかかる相談やきりがかりな人にどのような支援があるか話し合いを行った。</p> <p>活動延べ件数 485件 (地域訪問68, 民児協171, 支部事業43, 推進協8, 協働体46, 会議95, 研修会10, 個別相談44)</p> <p>※前年度 839件</p>
小地域福祉推進事業	<p>地域の福祉課題を解決し、安心して豊かな生活を営むことができるようにするために、福祉活動推進協議会等に活動助成金を交付し、地域の自主的な福祉活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一関11地区 1,797,800円 ・花泉7地区 1,231,000円 ・大東6地区 1,277,000円 ・千厩4地区 883,000円 ・東山1地区 603,000円 ・室根20地区 536,427円 ・川崎1地区 364,000円 ・藤沢1地区 600,000円 合計51地区 7,292,227円
社会福祉法人の連携強化	<p>社会福祉法人との情報交換・情報共有を進める中で、福祉専門職による児童生徒等の福祉への理解や関心を育くむ取り組みを進めた。また、食料支援や移動支援等の地域課題に対応し、社会福祉法人と協働した事業を展開した。</p>
外出支援サービス事業	<p>在宅の寝たきり高齢者等の移動困難者を対象に医療機関や福祉施設への通院、通所、入退所の外出支援を行った。</p> <p>稼働延べ時間 241時間45分 延べ利用人数 109人 (東山支部32人、室根支部57人、藤沢支部20人)。</p> <p>※前年度 稼働延べ時間 252時間19分、延べ利用人数 98人</p>

シニア活動プログラザの運営	<p>社会参加を求めるシニア世代に対し、講座等の実施により、活動のきっかけづくり、仲間づくりを進めた。活動交流発表会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作品展示と活動動画の上映のみとし、206人が参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営協力委員会 3回開催（うち2回は書面協議） ・相談事業 1,054件 ・情報発信 8,425回 ・講演会及びセミナー 延べ参加者 848人
幸せ感じる地域の暮らし事業（モデル実施）	<p>一関地域厳美（小猪岡）地区、千厩地域奥玉地区の2地区をモデル地区とし、地域課題の解決を図る話し合いの場作りや関係機関への繋ぎを担った。地域協働体や民生委員児童委員協議会定例会等での事業説明や打ち合わせを重ね、ふれあいサロンと移動販売業者のマッチングを行った。</p>
社協だよりの発行	<p>地域福祉活動を啓発・促進させるため全戸に社協だよりを年4回発行した。第60号（5月1日号）、第61号（7月1日号）、第62号（10月1日号）、第63号（1月1日号）</p>
ホームページ等による啓発	<p>社協事業や地域福祉活動に関する情報を入手できるよう、ホームページの内容の充実を図り、地域福祉活動に関する情報を発信した。</p> <p>閲覧件数 18,136件 ※前年度 閲覧件数 13,180件</p>
ふれあいサロン事業	<p>小地域を単位として、高齢者等の生きがい作りや、寝たきり閉じこもり予防活動を目的に定期的に開催し、地域住民が主体となり実施したサロンに対し、活動助成金を交付した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を一部中止したサロンがあった。</p> <p>サロン数 321か所（一関112、花泉53、大東40、千厩46、東山15、室根17、川崎16、藤沢22） ※前年度 347か所</p>
ひとり暮らし高齢者の集い事業	<p>65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に孤独感の解消、健康と生きがいの高揚、介護予防等を目的に地域毎に開催した。</p> <p>延べ参加者 781人（花泉60、大東91、千厩518、東山66、室根12、川崎12、藤沢22） ※前年度 延べ参加者 411人</p>
在宅介護者リフレッシュ事業	<p>家庭で寝たきり高齢者の介護にあたっている方を対象に、介護者同士の交流の場を設け、精神的な疲労や介護技術の向上を目的に集いを開催した。</p> <p>延べ参加者 34人（うち一関会場13人、花泉会場6人、大東会場3人、千厩会場10人、東山会場2人） ※前年度 延べ参加者 28人</p>
車いす貸出し事業	<p>高齢者や障がい者の生活を援助するため、外出時等に車いすを貸し出した。</p> <p>延べ貸出台数 115台（一関29、花泉26、大東4、千厩28、東山8、室根6、川崎3、藤沢11）</p>
手話通訳者等派遣事業	<p>聴覚障害者等が意思疎通に支障のある時、要請に応じ、手話通訳者等の派遣を行い、障がい者の社会参加促進および交流活動の充実を図った。</p> <p>派遣延べ人数 153人、延べ派遣時間 202時間</p> <p>※前年度 派遣延べ人数 134人、延べ派遣時間 193時間</p>
子育て支援事業	<p>一関市ファミリーサポートセンターの事業周知をより一層図り、育児の支援を行う方（協力会員）と、育児の支援を受ける方（依頼会員）、双方を兼ねる方（両方会員）を組織化し、育児に関する相互支援活動を行った。また、子育て支援の相談・情報提供等を行った。</p> <p>会員数 638人（依頼会員 482人、協力会員 136人、両方会員 20人）</p> <p>利用件数 262件（主な利用：保護者等の病気時の援助、幼稚園、保育園、学校等休み時の援助、保育所幼稚園の迎え及び預かりなど）</p> <p>※前年度 会員数 642人、利用件数 478件</p>
子育てサロン事業	<p>孤立しがちな子育て家庭の育児不安の解消に資するとともに、未就学の子どもをもつ当事者同士がふれあい、仲間づくりを行う活動に対し助成を行い、地域における子育て世代の居場所づくりを行った。</p> <p>5サロン（一関2、千厩1、東山1、川崎1） ※前年度 4サロン</p>

ボランティアセンター事業	<p>コロナ禍のボランティア活動相談にも対応できるよう、ボランティアニーズと活動のコーディネートを行った。また、学校との連携を深め、福祉が身近なことだと感じてもらえるよう、小学校 11 校、中学校 2 校へプログラムの企画や講師の調整等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンター運営委員会 2 回開催（うち 1 回書面審議） ・ボランティア保険の加入（主な加入保険 活動保険 1,474 人、行事用保険 458 件） ・ボランティア協力校の指定 18 校（小学 7、中学 8、高校 3） ・ボランティア講座等の開催（①中高生ボランティアスクール 延参加者数 54 人、②高校生保育ボランティア体験 参加者数 9 人、③災害ボランティアセンター設置運営研修 参加者数 21 人）
敬老会開催事業	<p>敬老会の見直しについては、主催や進め方等、様々な意見が寄せられ、懇談を重ねてきた。その中で、令和 3 年度は市、社協、地区実施団体の三者が主催となり、多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、コロナ禍で実施できる敬老事業として、記念品の贈呈、友愛訪問等を行い、長寿をお祝いした。</p> <p>対象者：80 歳以上の高齢者 16,680 人</p>
緊急連絡カードの整備事業	<p>民生委員の協力により、ひとり暮らし高齢者等の緊急連絡カードを作成し、緊急時の見守り活動を行った。</p> <p>2,708 世帯（一関 968、花泉 363、大東 311、千厩 322、東山 201、室根 120、川崎 139、藤沢 284）</p>
福祉団体等への助成事業	<p>ボランティア団体等、福祉団体の活動を円滑に推進するため、各団体へ活動助成する。</p> <p>31 団体 3,482,300 円（本部 5、一関 9、花泉 9、大東 2、千厩 1、東山 1、室根 1、川崎 1、藤沢 2）</p>
食料支援事業	<p>一関市総合福祉センター及び千厩農村勤労福祉センターにフードポストを設置し、麺類やレトルト食品などの保存が利く賞味期限内の食品を市民の皆様や企業、団体から寄附いただいた。寄附いただいた食品は、生活にお困りの方やひとり親家庭への食料配付を行った。</p> <p>寄附いただいた食品：8,723 点 配布先：生活困窮（延べ 40 世帯）、ひとり親世帯（7 月、12 月、3 月 延べ 212 世帯）</p>

生活支援課

事業名	内容
生活福祉資金貸付事業	<p>他の貸付制度が利用できない、収入の少ない世帯及び障害者や高齢者が属する世帯に対し、生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、相談支援とともに資金の貸付を行った。また、新型コロナウイルス感染症による失業や収入減少で緊急かつ一時的な生活維持のための資金が必要な世帯や、生活に困窮し日常生活の維持が困難となっている世帯に対し、緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ特例 262 件 73,830,000 円（緊急小口資金 130 件、総合支援資金 68 件、総合支援資金（延長）22 件、総合支援資金（再貸付）42 件） ※前年度 コロナ特例 442 件 113,540,000 円 ・福祉資金 16 件 3,133,171 円（福祉費 7 件、緊急小口資金 9 件） ※前年度 18 件 5,353,400 円 ・教育支援資金 18 件 8,064,500 円（教育支援費 10 件、就学支度費 8 件） ※前年度 23 件 15,024,000 円
たすけあい金庫貸付事業	<p>失業や疾病等による一時的収入減等により、生活維持が困難になった世帯に対し、応急的な資金として無利子で貸し付けを行った（限度額 50,000 円）</p> <p>千厩支部 1 件 50,000 円</p>

日常生活自立支援事業	<p>福祉サービスを自ら選択することや福祉サービス提供事業者と契約することの判断能力が不十分な方に対し、利用手続きの援助や代行、公共料金の支払いなど、本人の日常生活の自立を支援した。また、更に判断能力の低下がみられる方については、関係機関と連携し、成年後見制度の申し立ての検討や申し立て手続きの支援を行った（成年後見制度への移行1件、金銭管理可能な施設への移行4件）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門員2人、生活支援員23人（一関21人、平泉2人） ・生活支援員活動件数 693件 ※前年度778件 ・契約者数 45人 ・相談件数 延べ2,321件 ・新規契約相談 41件 ※前年度 契約者数50人、相談件数2,126件、新規契約相談30件
生活困窮者自立支援事業	<p>生活困窮者に対しての経済的自立と生活の安定を目指し、関係機関と連携した自立や就労等の相談支援、家計改善に向けた相談支援を行った。また、新型コロナウイルス影響が継続する中、関係する生活福祉資金貸付ケース、及び市が行う給付金の一部事務へ協力も行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 291件（うち、住居確保給付金 25件） ・支援件数 3,630件（うち、住居確保給付金129件） ※前年度 相談件数 335件、支援件数 2,483件
緊急一時支援事業	<p>ホームレスやDV等の社会的孤立や社会的排除により支援が必要な方へ、家財の貸し出しや宿泊施設の提供などの緊急一時支援を行い、自立の援助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時宿泊支援 4件 ・家電製品等の貸出 3件
成年後見制度利用促進事業	<p>令和3年度は、社協単独（一関障害者支援プラザ・日常生活自立支援事業）にて支援関係者向けの成年後見制度に関わる研修会を合計2回開催し、成年後見制度の周知啓発を図った。また、令和5年度からの成年後見支援センター事業受託と、それに向けた令和4年度の事業の協働についてのスケジュールを市と大枠で共有することが出来た。</p>
障害者生活支援事業	<p>障がい者（児）が地域で安心して社会生活を営めるように、障がい当事者として同じ経験を持つピアカウンセラーと共に相談者に必要な支援などの情報提供や助言を行う。また、必要な福祉サービス利用のための計画相談支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本相談件数 2,583件 ・計画相談件数 1,325件 ※前年度基本相談件数2,843件、計画相談件数1,577件 <p>基幹相談支援センター事業では障がいのある方や家族の方の最初の相談窓口として、地域の障がい福祉に関する相談支援の中核的な役割を担った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センター 2,537件 ※前年度1,853件
心配ごと相談所事業	<p>日常生活の心配ごと、悩みごと等を気軽に相談できるよう相談員を委嘱し相談、援助に努めた。毎週木曜日相談所を開設。毎月第2金曜日には花泉、大東、千厩、藤沢の各支部を会場に移動相談所を開設した。また、生活支援特設相談会にて心配ごと相談所も開設。（12/18千厩、12/25一関）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日数57日、延べ人数 40人、延べ件数 160件 主な相談は、家族、精神衛生、財産に関する相談であった。 ※前年度 開設日数56日、延べ人数41人、延べ件数111件
被災者支援事業（生活支援事業）	<p>東日本大震災で被災された方の生活支援相談の他、地域支援活動を通じた住民の主体形成に取り組んだ。また、令和3年度の同事業終了に伴い、事業終了後の対応について市と協議するとともに、支援対象者の情報共有を行った。</p>
被災者コミュニティ支援事業	<p>東日本大震災被災者へ交流の場を提供するほか、行事や活動を通して生きがい作りや仲間作りを支援することで、心のケアやコミュニティの形成につなげることを目的にお茶っこサロンを開催し、延べ29人が参加した。被災者支援事業終了に伴い、令和3年度で同事業も終了となった。</p>

生活支援特設相談窓口開設事業	<p>新型コロナウイルス感染症の社会的・経済的な影響などにより、生活に何らかの不安を抱えている世帯などを対象として、不安の解消を目的に生活支援に関する総合相談窓口を開設し、延べ件数 14 件の相談に対応した。また本年度は新たに千厩農村勤労福祉センターでも相談対応した。</p> <p>開催日：令和 3 年 7 月 31 日、12 月 18 日、12 月 25 日、 令和 4 年 3 月 19 日</p> <p>協力機関：一関市、法テラス岩手、ハローワーク一関、消費者信用生活協同組合</p>
----------------	--

介護事業課

事業名	内容
地域包括支援センター事業	<p>高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域における総合的なマネジメント機能を担うため、地域包括支援相談（総合相談支援、権利擁護、虐待の早期発見・防止、包括的・継続的ケアマネジメント支援）、介護予防ケアマネジメント、高齢者虐待防止等の研修会を行った。</p> <p>※介護予防プラン 花泉地域：職員 3 人、大東・東山地域：職員 7 人で対応 ・花泉 1,619（内委託数 787） ・大東・東山 3,274（内委託数 1,208） 合計 4,893 件（内委託数 1,995）</p> <p>※前年度 花泉 1,699（内委託数 834）、大東・東山 3,446（内委託数 1,422） 合計 5,145 件（内委託数 2,256）</p> <p>※地域包括支援相談 花泉地域：職員 3 人、大東・東山地域：職員 6 人で対応 ・花泉 745 ・大東・東山 1,060 合計 1,805 件</p> <p>※前年度 花泉 854、大東・東山 732、合計 1,586 件</p>
ヘルパーセンター	<p>要介護及び要支援と認定された高齢者等に対し、訪問介護員が家庭を訪問して、日常生活の家事援助や身体介護を提供した。</p> <p>※訪問介護 年間延訪問回数（1 日当たり訪問件数） ・花泉 10,577（29 件） ・大東 4,331（12 件） ・東山 5,370（15 件） ・室根 2,707（7 件） ・藤沢 12,355（33 件） 合計 35,340 回</p> <p>※訪問型サービス（総合事業） 年間延訪問回数（1 日当たり訪問件数） ・花泉 2,042（6 件） ・大東 2,439（7 件） ・東山 1,018（3 件） ・室根 660（2 件） ・藤沢 1,951（5 件） 合計 8,110 回</p> <p>※前年度 訪問介護、訪問型サービスの年間延訪問回数 花泉 15,320 回、大東 6,465 回、東山 5,666 回、室根 3,564 回、 藤沢 15,723 回、合計 46,738 回</p>
介護支援事業所	<p>障がい者の方に対し、訪問介護員が家庭を訪問し、日常生活の家事援助や身体介護サービスを提供した。</p> <p>年間延訪問回数 ・花泉 2,861 ・大東 916 ・東山 1,244 ・室根 250 ・藤沢 792 合計 6,063 回</p> <p>※前年度 年間延訪問回数 花泉 2,669 回、大東 707 回、 東山 1,262 回、室根 237 回、藤沢 1,077 回、合計 5,952 回</p>
訪問入浴センター	<p>在宅で入浴が困難な方、デイサービス等の利用が難しく、家庭の風呂を使つての入浴が困難な方のための訪問入浴介護サービスを提供した。</p> <p>※訪問入浴 年間延訪問回数（1 日当たりの訪問件数） ・東山 713（4 件） ・藤沢 725（3 件） 合計 1,438 回</p> <p>※前年度 年間延訪問回数 1,337 回（東山 722 回、藤沢 615 回）</p> <p>また、障がい者の方に対し、自立した日常生活又は社会生活を営むため訪問入浴サービスを提供した（一関市からの補助事業）</p> <p>※障がい者地域生活支援事業 障がい者入浴 年間延訪問回数 合計 166 回（東山のみ） ※前年度 年間延訪問回数 116 回 東山のみ</p>

デイサービスセンター	<p>日帰りの施設介護サービスで、自宅からの送迎・入浴・昼食・余暇活動等のサービスを行い、一日を楽しく過ごせる通所サービスを行った。</p> <p>利用定員数 大東、興田…定員 30 名、東山…定員 25 名、室根…定員 18 名</p> <p>*通所介護 年間延利用回数(1日当たりの利用件数)</p> <p>・大東 7,529 (24 件) ・興田 6,398(20 件) ・東山 5,911(19 件)</p> <p>・室根 2,752(9 件) 合計 22,590 回</p> <p>*通所型サービス(総合事業)年間延利用回数(1日当たりの利用件数)</p> <p>・大東 1,155 (4 件) ・興田 969 (3 件) ・東山 1,300(4 件)</p> <p>・室根 1,113 (4 件) 合計 4,537 回</p> <p>※前年度 通所介護、通所型サービスの合計年間延利用回数 26,787 回 (大東 8,579 回、興田 7,207 回、東山 7,231 回、室根 3,770 回)</p> <p>*生活介護事業(身体障がい者等に対する生活介護事業)年間延利用回数 R4.2 月から利用開始 合計 16 回(東山のみ) ※前年度 利用者なし</p>
ケアプランセンター	<p>依頼を受けてケアマネジャーが利用者宅を訪問し、ケアプランの作成や介護に関する相談、医療機関や各サービス事業所との連絡調整等を行った。</p> <p>年間延利用者件数(月実利用者数)</p> <p>・花泉 1,618(134 人) ・大東 1,584(132 人) ・興田 1,398 (117 人)</p> <p>・東山 1,129 (94 人) ・室根 804 (67 人) 合計 6,533 件</p> <p>※前年度 年間延利用件数 花泉 1,459 件、大東 1,425 件、興田 1,261 件、東山 1,201 件、室根 822 件、合計 6,168 件</p>
在宅介護支援センター	<p>介護予防・生活支援等の総合相談、高齢者の実態把握、介護保険対象外の方への支援を行った。(一関市からの委託事業)</p> <p>年間延相談件数(月実利用者数) 東山 39 件 (3.25 人)</p> <p>※前年度 年間延相談件数 東山 27 件</p>
千厩ワークプラザ(就労継続支援B型)の運営	<p>通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう就労の場を提供すると共に、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力向上のために必要な訓練等を行った。</p> <p>*主な就労内容 施設清掃業務、アウトドア用薪加工、農福連携事業、クロネコ DM 便、ふのりゴミ取り作業、機械用ウエス加工</p> <p>*年間延利用者数 合計 3,570 人</p> <p>※前年度 年間延利用者数 3,761 人</p>
介護職員初任者研修	<p>一関市内で介護の仕事に就こうとしている者を支援し、介護の担い手を育成することを目的に研修会を開催した。コロナ禍での研修会の開催となり一部通学制から通信制を導入し全過程の修了となった。</p> <p>130 時間 23 日間 修了生 20 名 ※前年度 修了生 12 名</p>
苦情等の処理	<p>福祉事業・福祉サービス等各種の事業内容についての評価やサービスに関する苦情等を伺い、公正を図るため、関係者以外から第三者委員を委嘱し適正な運営に努めた。</p>

一関支部

事業名	内容
食事サービス事業	<p>65 歳以上のひとり暮らしの方、高齢者世帯や障がい者世帯を対象に、月曜日から金曜日までの夕食を届ける食事サービスを実施した。配達業者の協力を得て利用者の安否確認や健康状態等の確認を行った。</p> <p>料金は 1 食(主食・副食) 400 円、副食(おかず)は 350 円。</p> <p>・食事サービスの利用者数 延べ利用者数 649 人、食数 10,778 食、配食日数 242 日</p> <p>※前年度 延べ利用者数 790 人、食数 12,727 食、配食日数 243 日)</p>

理髪サービス事業	<p>家庭での寝たきり者を対象に、理髪を行い、心身を爽快にするとともに、家族介護の軽減を図るため、理容組合一関支部の協力を得て理髪サービスを実施した。利用申請者にサービス利用券（1枚 3,000円）を交付し、理髪店は申請者が選択。利用券は、4～7月申請は3枚、8～11月申請は2枚、12～3月申請は1枚交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理髪サービス利用券交付状況 <ul style="list-style-type: none"> 申請者 59人、利用枚数 84枚、交付枚数 160枚、利用率 52.5% ※前年度 申請者 54人、利用枚数 150枚、交付枚数 96枚、利用率 64%
水難物故者追悼法要及び流灯会	<p>昭和22年のカスリン台風、23年のアイオン台風の襲来により大きな被害を受けたが、この災害を契機に災害のないまちを祈念し、追悼法要を実施した。</p>
支部だより発行	<p>一関地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。</p>
地域づくり支援事業	<p>各地区の地域協働体の部会や役員会、ワークショップへ出席し、地域生活課題の把握に努めた。また、解決へ向けた取組みが進められるよう、関係者へ情報提供や共有を行った。</p>

花泉支部

事業名	内容
さわやか大学	<p>高齢者が要介護とならないよう、運動器の機能向上や認知症等介護予防の観点から、孤独感の解消及び、教養講座、日常動作訓練を行い、高齢者の自立を支援した。</p> <p>会場：老松介護予防センター 延利用 210団体 1,912人</p> <p>※前年度 164団体 1,526人</p>
福祉啓発事業	<p>①花泉地域保健福祉活動紹介展の開催 地域住民の健康づくりや福祉に関する知識の普及と意識の向上を図ることを目的に開催する花泉地域保健福祉まつりが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったため、地域団体やサロン等の活動紹介や作品展示をする花泉地域保健福祉活動紹介展を開催した。（ふれあいサロン、ボランティア協力校等 25団体が展示） 開催日：令和4年2月22日～3月6日 場所：花泉総合福祉センター中会議室2・3 参加者：延べ216人</p> <p>②福祉作文募集、文集の発行（拡充） 児童生徒等に家庭や学校、地域での体験を通して感じたことを作文にすることで、福祉の心を育てる目的として実施する。優秀作品の表彰及び全応募作品を作文集としてまとめ、関係機関、応募者等に配布した。 応募総数 172点 入賞 20点</p> <p>③福祉作文表彰並びに最優秀作品朗読発表 応募のあった福祉作文を審査し、優秀作品の表彰及び最優秀作品の朗読発表を行った。賞状は各学校長より伝達し、また最優秀賞作品は3月15日、22日にコミュニティFMあすもで放送した。 表彰：最優秀賞 8名 優秀賞 12名 朗読発表：最優秀賞 8名</p> <p>④昔話・紙芝居の読み聞かせの開催 地域での子育てを応援するために開催し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアグループの訪問による昔話と紙芝居の読み聞かせを花泉地域の保育施設5施設で行い、子育て支援と交流を図った。 保育施設で8回開催 参加者延べ225人 ※前年度 117人</p>

	<p>⑤キャップハンディ体験指導 地域の小中学校のキャップハンディ体験を通し、福祉の理解と相手を思いやる気持ちを高め、福祉の心を育てた。(小学校4校、児童54人参加)</p> <p>⑥サロン等活動促進 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ふれあいサロン交流会を中止とし、資料を送付した。</p> <p>⑦子育て支援事業 花泉地域の子育て支援のための指定寄附を受け、子育て支援事業を実施した。地域の子育て支援の視点で、学校や保育施設から希望を取りまとめ、学用品や遊具等を配分した。また保育施設には給食用食材も配分した。 配分先 花泉地域の中学校1校、小学校6校、保育施設5施設</p>
支部だより発行事業	地域福祉啓発のため、福祉活動や社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせする広報を全世帯へ配布した。(6月・9月・12月・3月)
ボランティア講座	地域でのボランティア活動の理解と関心を深め、意識の醸成と啓発を図るために、ボランティア講座(庭木の剪定講座)を開催した。 期日:8月31日 会場:花泉総合福祉センター 参加者:16名
花泉総合福祉センターの指定管理	地域の福祉の増進に資するため、住民、団体等の活動の場として、貸館を行うと共に管理を行った。 年間利用者10,691人 ※前年度6,240人

大東支部

事業名	内容
ボランティア機器貸出事業	学校行事や自治会活動等の地域事業の中で、機器等を使用し地域交流の機会とする。また、障害擬似体験用具を活用し障がい者理解や福祉教育の一助とした。 貸出:ポッチャ11件 その他9件
支部だより発行事業	大東地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。(5月・8月・11月・2月)
食の自立支援事業(委託事業)	在宅の調理が困難な高齢者に対し、栄養バランスのとれた食事の配達と安否確認を行い、高齢者の健康と福祉の増進を図った。 年間配食数1,067食 月曜日～金曜日 昼食 ※前年度1,028食
高齢者外出支援事業	町内の65歳以上のひとり暮らし高齢者の外出する機会と目で見ても楽しむ買い物をつくることを目的とし買い物ツアーを実施した。 期日:11月4日・5日 場所:千厩ショッピングモールエスパ 参加者:40人 協力者:16人(民生委員児童委員)
福祉学習助成事業	未来の社会を担う子どもたちの福祉教育やボランティア教育の実践活動として地域社会との連携意識の高揚や福祉に関心や理解を深めることを目的として実践活動の助成を行った。 ①ボランティア学習・福祉教育の推進 ・小学校2校合計40,000円、中学校1校19,962円 ②ふれあいひまわりサービス(友愛ハガキ)の推進 ・利用登録者数92人 ③福祉学習・キャップハンディ体験への支援 ・小学校3校児童59人参加(内オンライン授業1校) ・中学校1校生徒18人参加

大東福祉まつりの開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お祭りの開催を中止し、子どもからお年寄りまで世代や障がいを超え、多くの住民が川柳を通じて、お互いを思う気持ち「思いやり」の心をはぐくむ機会に繋げ、誰もが住み慣れた地域で安心してくらすことを考える機会として、「ゆいっこ広場川柳」を実施した。応募作品は、作品集にまとめ応募者全員と関係機関に配付した。 応募対象：大東地域在住または勤務、通学している方 応募者数：160人 応募作品総数：192点 入賞者・作品の紹介：FMあすもでの放送、大東図書館及び大東保健センターでの掲示
大東地域版中高生ボランティアスクール	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

千厩支部

事業名	内容
理髪サービス事業	理容店の協力を得て、寝たきりの高齢者や障がいにより理髪店に行けない者に対し、自宅で訪問理髪を利用する際の利用料の一部を助成した。利用券(1枚1,000円)は年間7枚を上限に希望者に交付した。 対象者32人 ※前年度27人
高齢者等応援事業	①生活サポート事業(年間4回) ひとり暮らし高齢者・ひとり暮らし障がい者世帯を対象に雪かきなどの支援を行った。 ②イキイキ教室(対象者1人) 在宅の知的障がい者を対象に、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、職員が対象者の自宅を訪問し見守りと記念品配布を行った。 ③声の広報配布事業(利用者1人) 在宅の視覚障がい者等を対象に、ボランティアの協力により収録した市広報等をダビングし視覚に障がいがある方に配布した。 ④千厩子どもキッチン(年間1回) 食を通じた豊かな人間性の形成と、子どもが安心できる地域の居場所づくりを目的に千厩市民センターと共同で開催した。 ⑤交流サロン型サービス事業 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる生活支援サービスの展開を目指し、理容・美容・中華料理・クリーニングの各組合員を講師に自宅でできるマッサージや料理などの研修会を岩手県生活衛生営業指導センターと共催で開催した。 ⑥介護予防活動お出かけ応援事業(年間4回) 高齢者の介護予防活動の一環として、買い物機会の提供と介護予防「ひまわりカフェ」に参加し楽しむことで、フレイル予防の一助として、地元ショッピングモールを会場に開催した。
せんまや健康福祉まつり	障がい者・高齢者等の自立と社会参加の促進、市民の参画による支援者の拡大、もって健康長寿のまちづくりに資するものとして、行政、関係団体との協働で開催していたせんまや健康福祉まつりが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったため、地域団体やふれあいサロン等の活動紹介や作品展示等による「せんまや健康福祉活動紹介」を開催した。 内容：地域団体の活動紹介、ふれあいサロン作品展 他 参加者 283人 (前年度 中止)

支部だより発行事業	千厩地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。
千厩農村勤労福祉センターの指定管理	勤労者の福祉の増進に資するため、住民、団体等の活動の場として貸館・管理を行った。 年間利用者 3,964 人 ※前年度 4,158 人

東山支部

事業名	内容（目的・対象・見込数・場所等）
見守り活動支援事業（あんしんバッグ配付事業）	町内に居住する 75 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、急病や災害時に迅速に対応するために必要な物品を収容するバッグを配付し「安心して暮らせるまちづくり」の一助とした。 新規等対象者 12 人 ※前年度 16 人
支部だより発行事業	東山地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。
地域づくり推進事業	地域住民が安心して豊かな暮らしを営むことができる地域社会をつくるために、「地域づくり講演会」を開催し、自主的な活力ある地域づくりを支援した。 参加者 26 人 ※前年度 28 人
在宅介護者ふれあい交流事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

室根支部

事業名	内容
見守り活動支援事業（尿取パッド支援）	在宅介護者の労力軽減を図るとともに、民生委員の協力を得て尿取パッドを配布する際、寝たきり者等の状況把握と安否確認を行った。 対象者 延 413 人（毎月 1 回実施）
声の広報配布事業	広報いちのせきをボランティアが朗読、録音したカセットテープを、視覚障がいの方に配布した。 毎月 1 回録音 利用者 3 人
支部だより発行事業	室根地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。
理髪サービス事業	理容店の協力を得て、寝たきりの高齢者や障がいにより理髪店に行けない者に対し、自宅で訪問理髪を利用する際の利用料の一部を助成する。利用券（1 枚 2,500 円）は年間 3 枚を上限に交付した。
室根地域ふくしの集い	地域づくり、地域福祉に関する情報提供と研修の場をつくり、住み良い福祉のまちづくりを図った。
むろね社協ふくしまつり	新型コロナウイルス感染予防のため、規模を縮小しふくし標語・川柳コンクールおよび作品展覧会を開催した。 会場：室根きらめきパーク 参加者：443 人 ※前年度 160 人
夏休み・福祉体験	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

川崎支部

事業名	内容
障がい者交流事業	障がい者の家族、支援者を対象に、障がいについての理解を深めるための講演会を開催し、障がい者が地域で安心して社会生活ができるよう理解を深めた。 参加者 33 人
支部だより発行事業	川崎地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。

ふれあいサロン活動展	ふれあいサロン活動展を開催し、地域住民へ活動の取組みの様子をパネルで紹介した。 出展数 12 サロン 来場者 156 名
川崎農村環境改善センターの指定管理	住民の福祉の増進に資するため、住民、団体等の活動の場として貸館・管理を行った。 年間利用者 2,815 人 ※前年度 2,899 人

藤沢支部

事業名	内容
ライフヘルプサービス事業（拡充）	藤沢地域における高齢者世帯や、ひとり暮らしの高齢者及び障がい者等の日常的な困りごと（介護保険のメニューに無い、介護度がついていない等）に対する支援をボランティアの協力を得て行い、住民参加による共に支え合う地域福祉の推進を図った。 会員登録者数：利用会員 20 人、協力会員 19 名 年間利用実績：1 件 ※前年度 7 件
金婚を祝う会	結婚 50 周年を迎えたご夫妻を地域で祝福し、今後とも健康で活躍されることを願い毎年開催しているもので、3 年度で第 25 回を数えた。福祉委員や民生児童委員の参加も得て舞台芸術鑑賞などを楽しみ、金婚を迎えた喜びを分かち合った。 会場：縄文ホール 参加数：当祝者 19 組、参加総数 74 人 ※前年度 参加者数 11 組、72 人
福祉交流まつり	藤沢町産業福祉文化祭の福祉部門として、各祭と連携しながら開催した（展示、福祉販売、赤い羽根共同募金の各コーナー）。日頃より地域福祉に関心を寄せてくださる個人や各種団体と共に互いの連携を確認し合い、喜びを創り、地域福祉への理解と交流を深めた。 会場：藤沢文化センター 参加者：300 人 ※前年度 300 人
支部だより発行事業	藤沢地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等の情報を支部だよりとして全世帯と関係機関、関係団体へ配布し、地域福祉の啓発を図った。（発行月：6 月、12 月、3 月）